

## UNITEX ArchiveLT Sports Edition

AIによる人物自動認識機能を搭載した  
高速アーカイブソフトウェア



### 特長

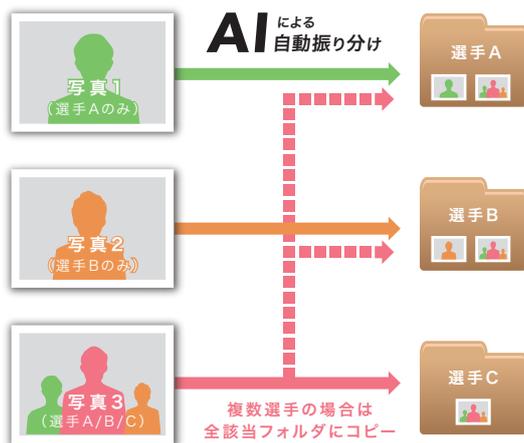
#### ● 顔や背番号によるフォルダ自動振り分け

人物の顔やユニフォームの背番号をAIが認識し、人物ごとにフォルダを作成して自動で振り分けを行います。複数の人物が写っている写真は、該当するすべてのフォルダにコピーされます。これにより、どの人物が写っているかがフォルダで判別可能となり、写真の検索性が向上します。



#### ● クラウドへの同時アーカイブ

LTOやNASに加え、Google DriveやAmazon S3、Wasabiといったクラウドストレージへの同時アーカイブが可能です。クラウドストレージ上でも人物ごとにフォルダ分けされるため、写真を容易に探すことができます。LTOにも同時アーカイブすることで、クラウドストレージには最新のものだけ置く、といった運用が可能となり、クラウドストレージの容量を抑えることができます。



#### ● シンプルなアーカイブ操作

アーカイブの操作は、事前に設定したフォルダに写真を置くだけ。面倒な画面操作は必要ありません。フォルダに写真を置いたあとはユーザ操作が不要で、フォルダの振り分けやLTO/クラウドへのアーカイブまで自動で行われます。また、アーカイブの完了をメールで通知することが可能なため、アーカイブの進捗を確認するための画面操作もありません。帰りがけに写真を置いて夜間に処理させるなど、時間の有効活用が可能です。



## ● オフラインでの検索/プレビュー

インターネットにつながっていない場合、LTOが装填されていない場合、専用のUIによるオフラインでの写真検索とプレビューが可能です。人物から写真を検索したり、試合やイベントなどの日付から検索することも可能です。写真はサムネイルで表示され、写真のダウンロードもボタンひとつで可能で、写真がどこにアーカイブされているか意識することなく取り扱うことが可能です。



## ● AIを賢くさせる「学習モード」

AIに人物の顔を学習させるための「学習モード」を搭載しています。本モードではAIによる自動振り分け結果が専用のUIに表示され、ユーザが内容を確認し、AIが判定した人物が誤っている場合は訂正することが可能です。ユーザが訂正した内容はフォルダ自動振り分けに反映されるだけでなく、人物と顔の対応をAIが学習して自動振り分けの精度を向上します。チームに新規入団した選手など、学習データが十分でない場合は認識精度が低くなってしまいますが、本機能を使用してAIに学習させていくことで、精度を高く自動で振り分けさせることが可能になります。



この顔は〇〇選手

## 利用用途

### ● 試合・イベント写真の二次利用

試合やイベントの写真を選手ごとに自動振り分けすることで、以下のように利用することができます。

- 試合・イベントに出場/参加した選手の記録
- 各選手のプレー分析
- 写っている選手やご家族への配布
- 写っている選手のファンへの販売
- 移籍先クラブチームへの譲渡

また、選手ごとの写真の枚数を把握することもできるため、枚数の少ない選手の写真を次回は多めに撮影する、といった行動の目安とすることも可能です。

### ● クラウドストレージの容量逼迫対策

クラウドストレージのみにデータを保管する場合、時間経過によってデータが蓄積していき、容量が逼迫したときに容量追加のための追加費用が発生します。

LTOとクラウドストレージに同時アーカイブすることで、クラウドストレージからデータを削除してもLTOでデータを保管し続けることができます。そのため、クラウドストレージ上で自由にデータを削除することができ、クラウドストレージの容量や削除によるデータロストを心配せずに利用することができます。

### ● 複数ストレージの一元管理

LTOやクラウドストレージに加え、NASやフラッシュメモリ/ディスクなど複数のストレージに同時アーカイブすることが可能です。また、アーカイブしたデータは、どこにアーカイブされたか意識することなくオフラインで確認することが可能です。これにより、災害対策やランサムウェア対策を実現することができ、大事なデータをより安全に、より簡単に保管することができます。

## 動作環境要件

名称	対応装置/環境
CPU	推奨 Intel Xeon E3 4Core 以上
メモリ	推奨 8GB 以上
グラフィックボード	NVIDIA T400 RTX3000 GeForce RTX2060 以上
推奨インターフェース	USB 3.0 以上 ※ USB機器を接続する場合 SAS 6Gbps 以上 ※ SAS機器を接続する場合
ディスプレイ	解像度 XGA以上が表示可能なディスプレイ
対応OS	Windows 10 (x64) Ver.1607以降 Windows 11 (x64) Windows Server 2019 (x64)
対応装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● LTOシングルドライブ LT90H/80H/70H/70/60H/60/50H/50(USB/SAS)</li> <li>● LTO ライブラリ</li> <li>● フラッシュメモリ/ディスク</li> <li>● SONY オプティカルディスク・アーカイブ ODS-D280U ※1</li> </ul> ※1 オプションライセンスが必要です。

※ 記載の会社名、商品名、ソフトウェア名は各社の商標あるいは登録商標です。 ※ 記載の内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがありますのでご了承ください。



株式会社 ユニテックス

<https://www.unitex.co.jp>

営業本部 〒194-0021 東京都町田市の中町2-2-4 ユニテックスビル  
TEL:(050)3386-1242 FAX:(042)710-4660

## お問い合わせ先